

2018年に改定されたガイドライン

1)エビデンスに基づく CKD診療ガイドライン2018

日本腎臓学会ホームページ

<https://www.isn.or.jp/>

今回のガイドラインは5年ぶりの改訂となる。17章計57項目のクリニカルクエスチョン(CQ)で構成。改定ポイントとして、従来の糖尿病腎症とは異なる新しい疾患概念である「糖尿病性腎臓病」(DKD)が章立てられているほか、高血圧・心血管疾患(CVD)、高齢者CKDについても詳しく取り上げられている。CKDのある女性を対象とした「妊娠」に関する章も新設されている。

書 籍

エビデンスに基づく CKD診療ガイドライン2018

発行日2018年6月

編集: 日本腎臓学会

発行所: 東京医学社

2)動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療ガイド 2018年版

日本動脈硬化学会ホームページ

<http://www.j-athero.org/publications/>

「動脈硬化性疾患予防のための包括的管理」「動脈硬化の臨床診断法」「脂質異常症のアセスメント」など22章で構成。エビデンスに基づいた記載としているが、ポイントを箇条書きにして簡潔に作成されている。脂質異常症などの治療は生活習慣の改善から始まるため、管理栄養士・栄養士、保健師などのメディカルスタッフとの連携がきわめて重要であり、実地医家等の臨床医からメディカルスタッフまでを対象としている。

書 籍

動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療ガイド 2018年版

発行日: 初版 2018年6月26日

発 行: 一般社団法人日本動脈硬化学会

制 作: 株式会社 伸企画